

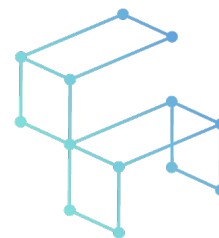
# プログラミング第1同演習

演習環境の構築方法

慶應義塾大学 理工学部 情報工学科

講義担当：河野 健二

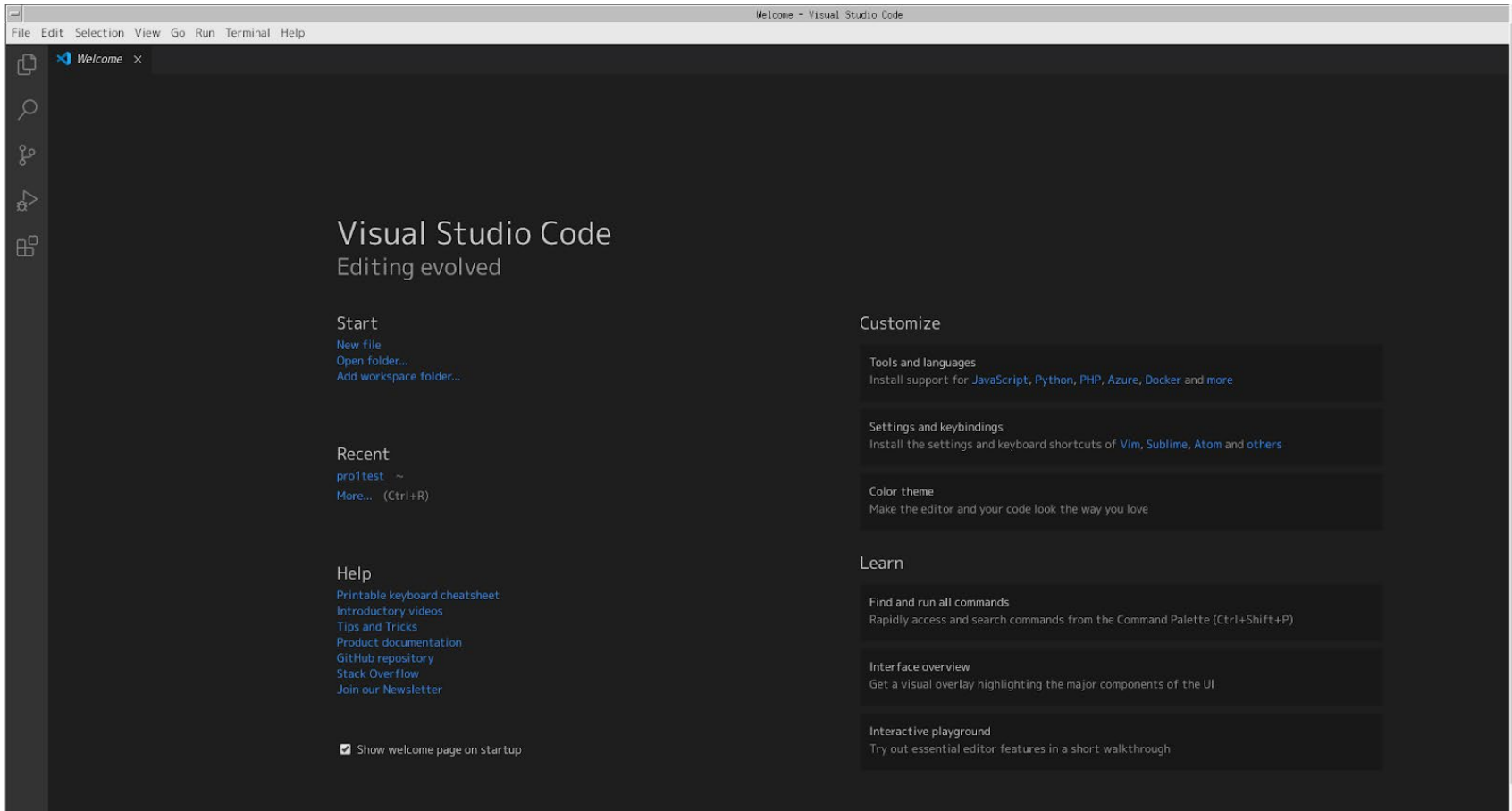
演習担当：杉浦 裕太



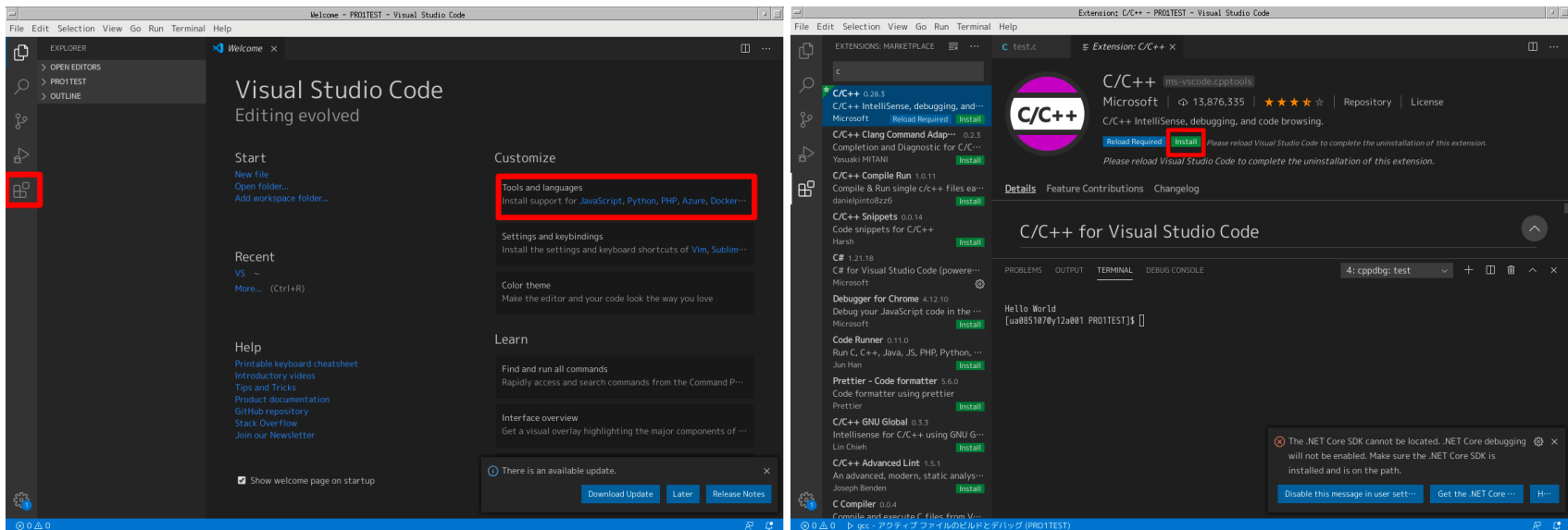
LIFESTYLE  
COMPUTING

# VS Codeの起動

- codeで起動

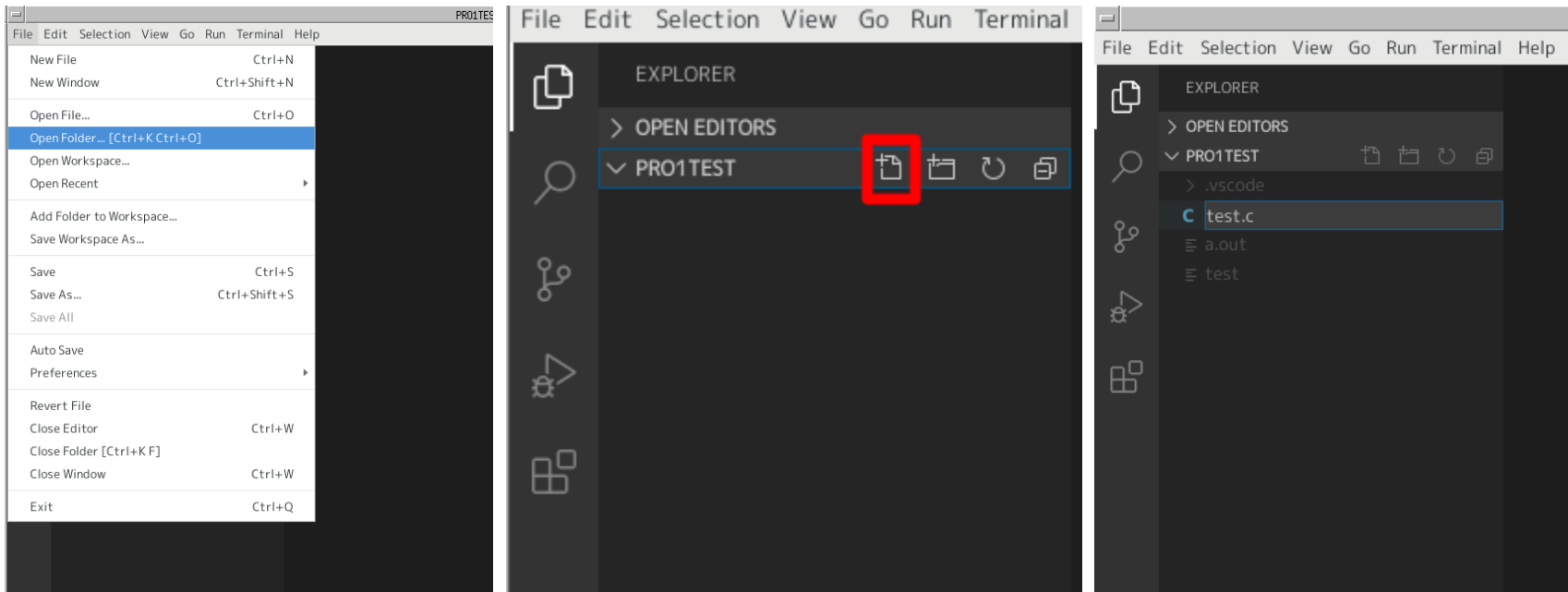


- Tools and languageまたは左タブの5つ目から C/C++ for Visual Studio Code をインストール
  - 失敗した場合はVS Codeを再起動してもう一度
- その後, VS Codeを再起動



# ディレクトリの選択, ファイルの作成

- File->OpenFolderから使用ディレクトリの選択
- EXPLORERに表示されるディレクトリ中のNew Fileで  
ファイルを追加
  - Cファイルを作成する際は拡張子を.cにする (例 :test.c)

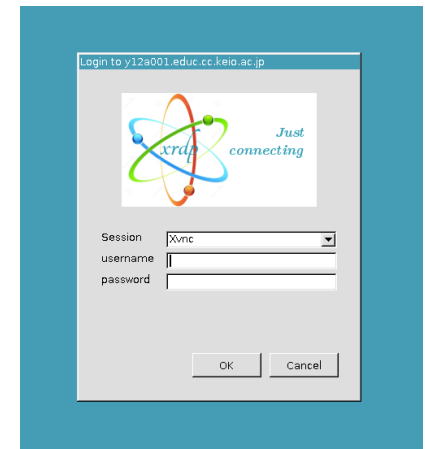
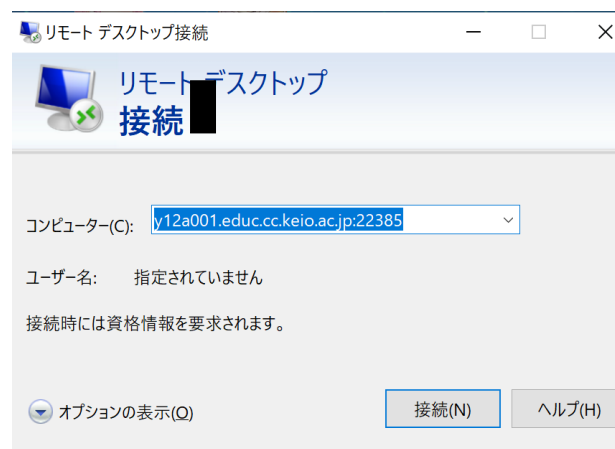
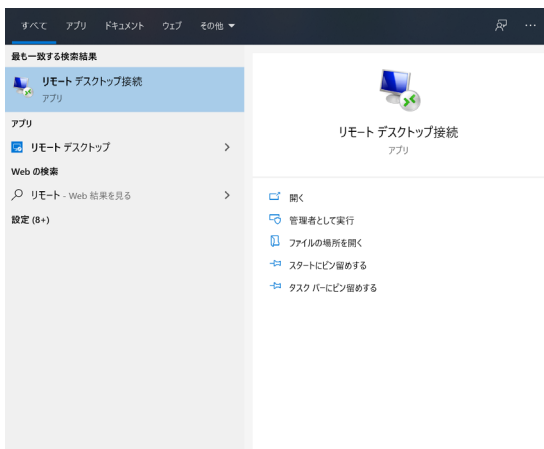


- コマンドで、.cが含まれたディレクトリまで移動
- gcc ファイル名 でコンパイル
- ./a.out で実行
- 初回にプログラムのコンパイルが通らない場合は、まずプログラムの正しく保存がされているかを確認

- 授業時間外で演習に取り組みたい場合に、ITCに來れば引き続き演習に取り組むことができる。
- さらに、ITCの計算機にリモートログインをして演習に取り組むことができる。
- これ以降に示す以外の独自の方法で演習に取り組む場合は、自身の責任で実施をし、発生した問題も自身で解決をするように。

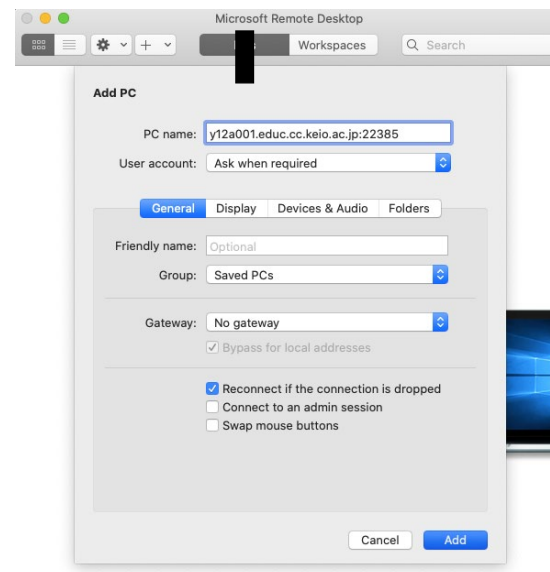
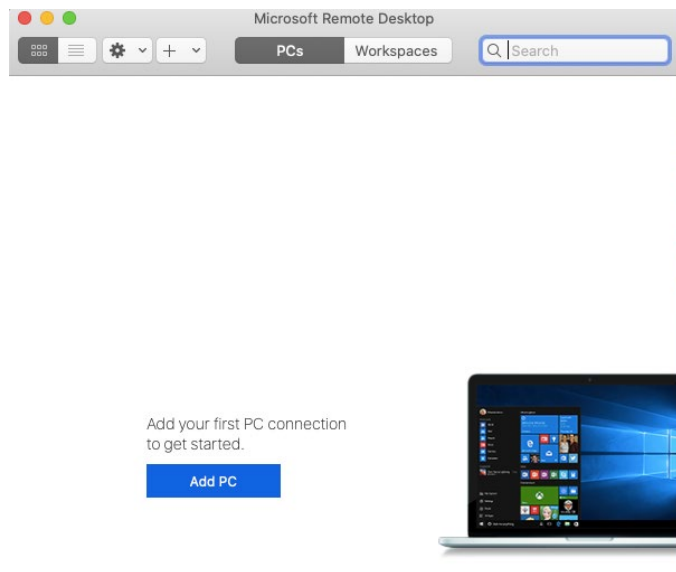
# リモートデスクトップの入り方(win)

- ログインサーバによるLinux環境へのアクセス
- 検索からリモートデスクトップ接続を起動
- PC nameにホスト名を入力
  - **remote.educ.cc.keio.ac.jp**
- 注意書きが出てくるが無視してOK
- その後の画面でITCアカウントの情報を入力しログイン



# リモートデスクトップの初回設定(mac)

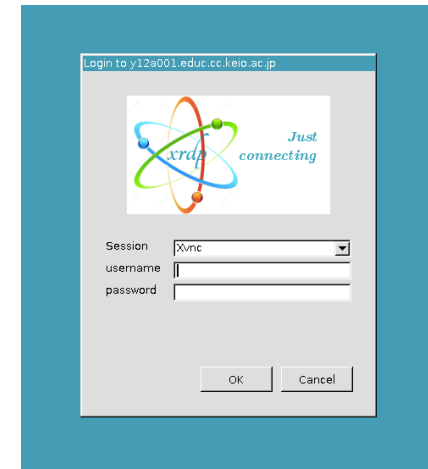
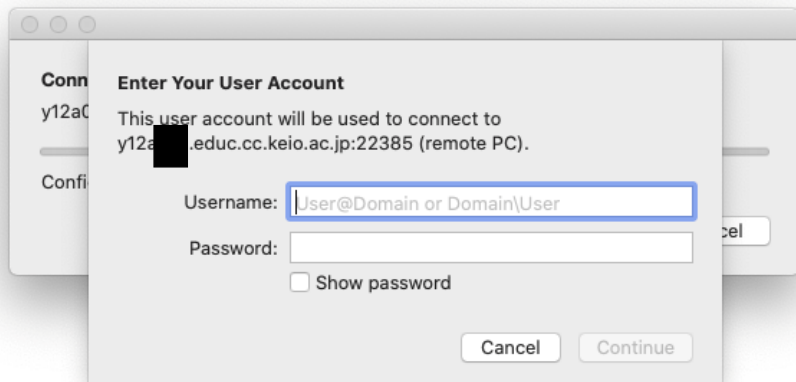
- ログインサーバによるLinux環境へのアクセス
- Remote DesktopをApp Storeからインストール
- 起動後, Add PCを選択
- PC nameにホスト名を入力
  - [remote.educ.cc.keio.ac.jp](https://remote.educ.cc.keio.ac.jp)





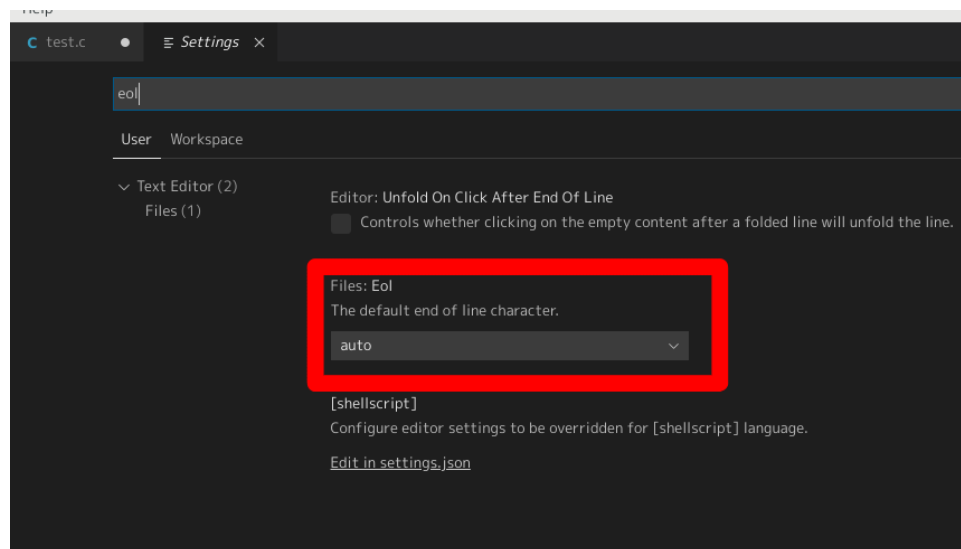
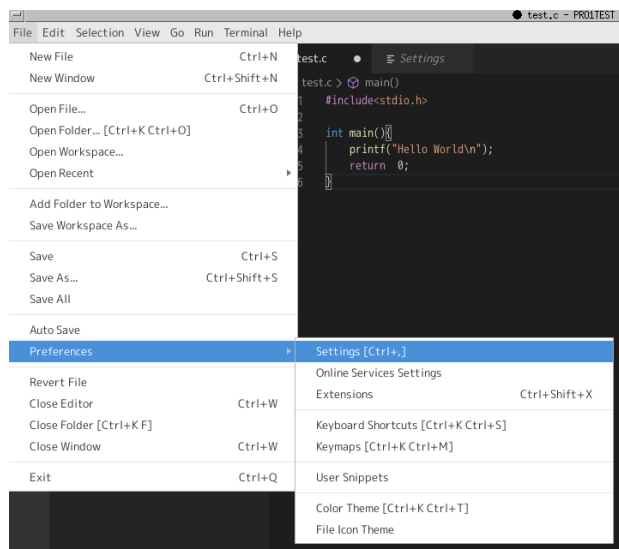
# リモートデスクトップの入り方(mac)

- 設定済のPCをダブルクリック
- Username, Passwordを入力
  - ここでの入力は何んでもいい(aなど)
  - 自分のITCアカウントの入力が無難(pass無し)
- 注意書きが出てくるが無視してOK
- その後の画面でITCアカウントの情報を入力しログイン



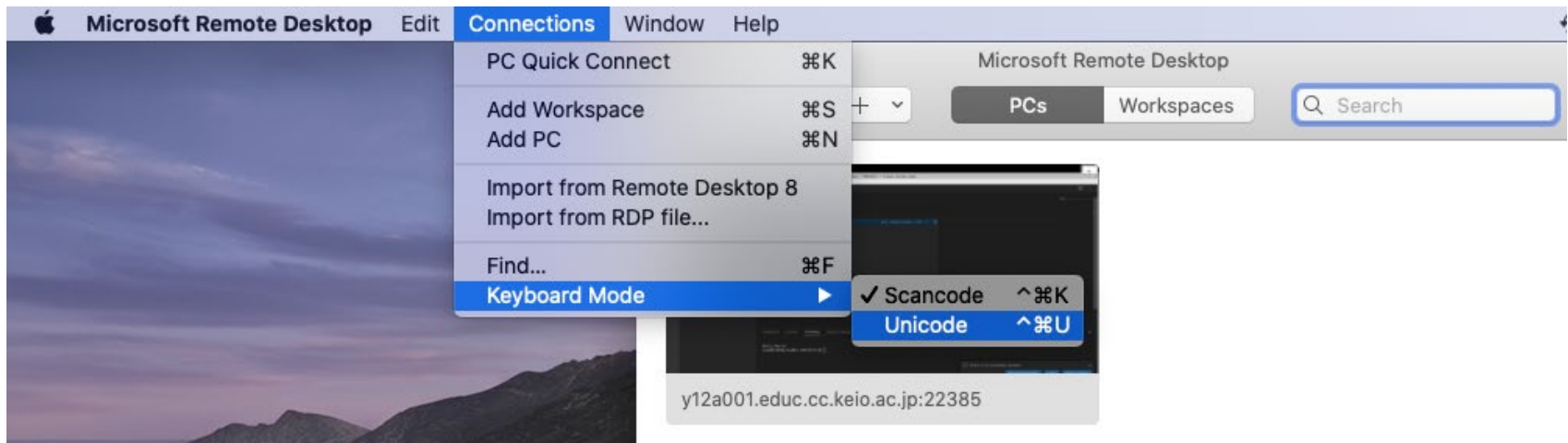
# 補足：一部windows環境での“ \ "入力

- 何もせずに入力できる場合はこれらの作業は必要ない
- File->Preferences->Settingsを選択
- Search settingsにEOLを入力
- 一度Files:Eolを“ ¥n”にした後“ auto”に戻す
- “\ ”キーで入力ができるようになる



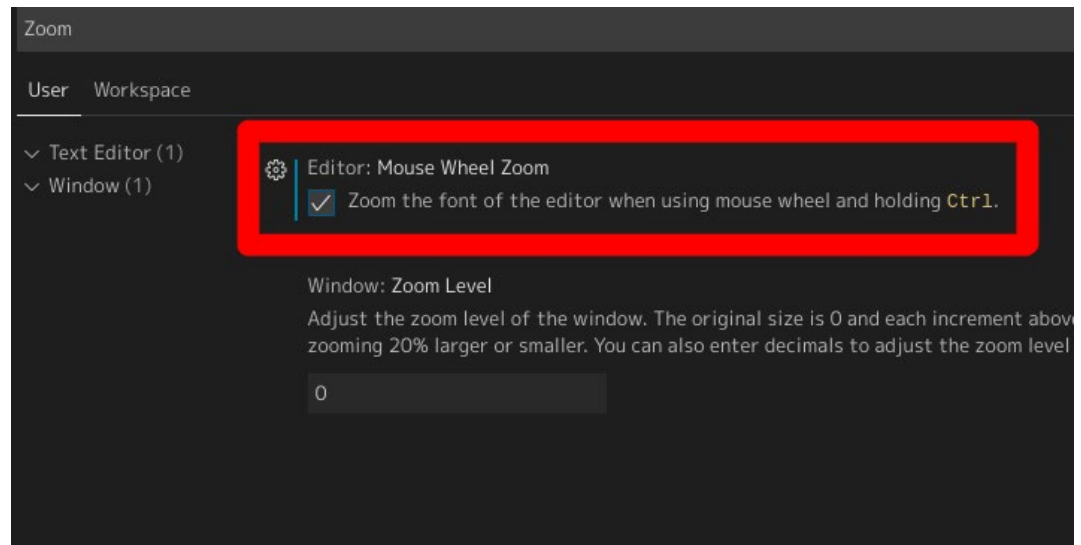
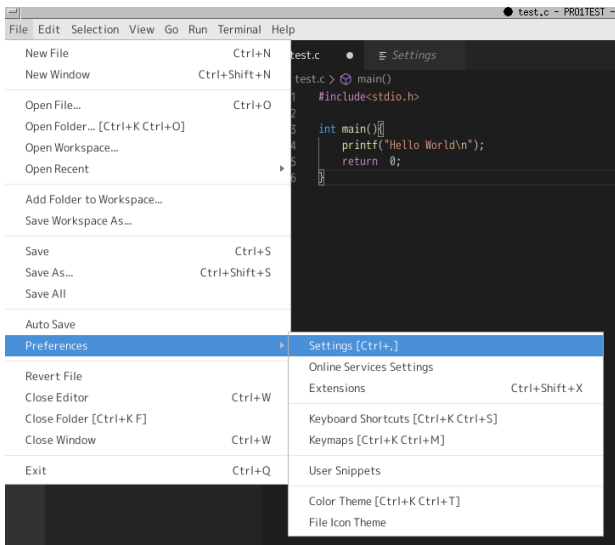
# 補足：mac環境での“ \ ”入力

- Remote Desktopを起動後，Connections->Keyboard Modeより，Unicodeを選択
- “optionキー” + “¥キー” で “\”が入力できるようになる
- この設定をしないと、{}などの記号も打てなくなるので設定必須



# 補足：VS Codeエディタの拡大

- File->Preferences->Settingsを選択
- Search settingsにZoomを入力
- Mouse Wheel Zoomにチェックをいれる
- Ctrl + マウスホイールで拡大縮小



# 補足：リモートデスクトップの拡大(win)

- unixに接続後，ウィンドウモードにする
- ウィンドウ左上のPCマークをクリック
- 任意の大きさに拡大
- 画面からはみ出した部分はスクロールバーで対処

